

緑の屋根の時計台



第 16 号 平成 19 年 5 月 20 日発行

シリーズ糖尿病 第五話

糖尿病の治療

薬物治療について

糖尿病治療の基本は食事療法と運動療法ですが、目標とする血糖値コントロールが達成出来ないときには薬物治療が必要です。血糖を下げる薬物治療では、飲み薬（経口血糖降下剤）か、注射療法（インスリン注射）のどちらかを選びます。どちらにするかは、患者さんの糖尿病のタイプ（インスリン依存性か否か）や糖尿病の程度を参考に決めます。内服薬には以下の5種類があり、その人の体に応じて使い分けをします。数種類を併用して使う事もあります。

一）スルホニル尿素剤膵臓に働いてインスリンの分泌を促進し、血糖値を下げます。（アマリール、ダオニール、グリミクロン）
二）グルコシダーゼ阻害薬食物の中に含まれている糖質の消化、吸収を遅くして食後の急激な血糖値の上昇を抑えます。（ヘイソン、グルコバイ）
三）速効型インスリン分泌促進剤内服後、速やかに短時間だけ



インスリン分泌を促進し血糖を下げます。食事の直前に一日三回内服します。（スターシス、フアステイック）

四）インスリン抵抗性改善薬インスリンが出ていてもうまく働かない状態（インスリン抵抗性）を改善し、血糖値を下げます。（アクトス）

五）ビッグアナイド薬肝臓での糖の産生を抑える事で、血糖値を下げます。（メルピン）

*薬品名は当院で使用頻度の高い薬剤のみ掲載してあります。

*内服をする上での注意事項
一）糖尿病の薬の働き方と食事には深い関係があります。食事は出来るだけ規則正しく、決まった時間帯にとるようにしましょう。

二）薬の種類によって、飲み方が違いますので注意してください。
三）自分の判断で薬の量を増やしたり、減らしたり、中止したりしてはいけません。

インスリン注射インスリンが体で作られない 型糖尿病、また感染症に罹ったり、妊娠中や手術を受けるとき（内服できない）経口剤でコントロールが出来なくなったときはインスリン注射による治療が必要です。インスリン製剤には作用時間の異なる速効性、中間型、混合型がありその人

にあったインスリンの種類と量が決められ、1日の血糖値が健康な人に近づくようにコントロールします。



*大切な事は、薬物療法を始めたらからといって食事療法と運動療法を怠りがしるには薬の効果は十分発揮されません。いままでの治療も継続してください。



クリニックからのお願い!!

毎月最初に受診される際は

保険証を忘れずに!!

勤務先・住所等が変更したときもお知らせ

してください



食物アレルギーとは？(2) シリーズ：アレルギー 第5回

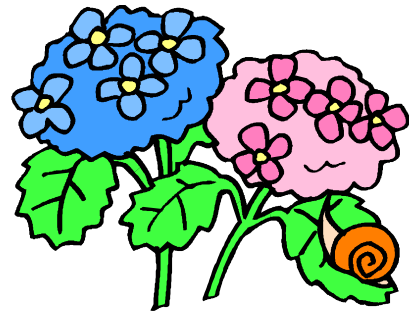
食物アレルギーの診断と治療

食物アレルギーの診断：問診（聞き取り）と色々な検査を組み合わせで行われます。問診では、具体的な症状や食べた食品の種類や時間、そのときの症状を記入した「食物日誌」も参考になります。検査にはアレルギーの有無を調べる検査と原因となる食物を探す検査があります。アレルギーの有無は血液検査（血液中のアレルギーの原因となる抗原に対する抗体検査）や皮膚テスト（皮膚に抗原の入った

液をつけて、発赤の有無をみる）でみます。アレルギーの原因となっている食べ物を探すには、食物除去試験と食物負荷試験があります。除去試験では、原因と推定された食物を食事のメニューから外し症状が改善されるか否かをみます。症状が改善したらその食品が原因である可能性が大きいとわかります。負荷試験では、症状の改善している時期に原因と思われるものをもう一度食べてもらいます。症状が出現したら、アレルギーの原因になっている食品と分かります。

予防と治療：治療の基本は、アレルギーの原因になっている食品を除去することです。しかし、原因となる食品や、アレルギー症状の程度は人により異なり、除去する程度や範囲、期間も人によって異なります。食品の除去に関しては医師との十分な打ち合わせが必要です。また、除去食を行う場合には、必ず代替となる食品を取り入れて栄養のバランスをとるようにしてください。

アレルギーの特定に、食物日誌を活用！



ご存知ですか？ 病診連携

病診連携とは、かかりつけ医である診療所と地域の病院が協力しあって患者さんの治療にあたることをいいます。日ごろは身近なかかりつけ医が健康状態や病状などを把握し、精密検査や入院による治療が必要になった場合は、病院の医師と相談しながら治療をすすめてゆきます。

それぞれの専門性を生かした質の高い、無駄の少ない医療を提供することを目的としております。

当クリニックでは、左記の病院と連携をしております。また、他の病院に対しましても患者さんのご希望の病院をご紹介します。ご紹介いたします。

連携先のご紹介
高山赤十字病院、久美愛病院、飛騨市民病院、富山大学付属病院などです。



江尻内科循環器科クリニック

飛騨市古川町上気多631-1

Tel 0577-74-0041 Fax 0577-74-0057

診療時間 (月～土)午前8:30～12:00 午後3:30～6:30

水曜午後休診、土曜午後は1:30～4:00

<http://www.ejiri-clinic.info>